

長野県消防防災航空隊殉職者合同追悼式

総務課

去る5月30日（火）長野県松本市のキッセイ文化ホールにおいて、長野県・長野県消防長会主催の長野県消防防災航空隊殉職者合同追悼式が開催され、阿部長野県知事を始め、遺族や関係市の消防関係者などが参列されました。

この式典は、今年3月5日に発生した長野県消防防災ヘリコプター「アルプス」の墜落事故で殉職された県消防防災航空隊員9人に対してこれまでの功績を称え、多くの関係者に生前をしのぶ機会とするために執り行われたものです。

当日は、全員で祭壇に向かって黙祷を捧げた後、関係6団体からの顕彰、阿部守一長野県知事による別辞、追悼の辞、献奏、参列者による献花が行われました。

消防庁からは、青木信之消防庁長官が参列し、顕彰状の授与、高市早苗総務大臣の追悼の辞の代読及び献花を行いました。

<高市総務大臣の追悼の辞>

本日ここに、「長野県消防防災航空隊殉職者合同追悼式」が執り行われるにあたり、総務省・消防庁を代表して、謹んで御霊前に追悼の言葉を捧げます。

瀧澤忠宏様、小口浩様、甲田道昭様、大工原正治様、伊熊直人様、高嶋典俊様、伊藤渉様、岩田正滋様、清水亮太様、

皆様は、去る3月5日、松本市内山中における山岳遭難の救助訓練に際し、尊くもその職に殉じられました。

皆様が搭乗しておられた長野県消防防災ヘリコプターは、年間百件を超える緊急運航実績があり、昨年度は山岳や河川における救助活動により、六十名余りの方が救助されたとお伺いしております。

国民の皆様の生命・身体・財産を守るため、日々、懸命に活躍して下さっていた前途有為な皆様を失いましたことは、今後の長野県下の消防、そして我が国の消防にとって大きな損失であり、消防行政を所管する総務大臣として、痛惜の念に堪えません。

最愛の方を失われた御遺族の皆様の深い悲しみに思いを致し、心からお悔やみを申し上げます。

皆様がその身をもって示してこられた崇高な責任感と果敢な行動は、消防精神の発露として私どもが銘記するべきものであります。

皆様の生前の御功績を讃えますとともに、深く感謝を申し上げます。

総務省・消防庁の職員ともども、皆様のご遺志を引き継ぎ、消防に課せられた使命と責任の重大さを噛みしめながら、全力で働いてまいりますことを、ここにお誓い致します。

御霊の永遠に安らかならんことをお祈り申し上げますとともに、御遺族の皆様の御平安を心より祈念申し上げます。

平成29年5月30日 総務大臣 高市 早苗



青木消防庁長官による顕彰状の授与



青木長官による献花



高市総務大臣の追悼の辞を代読する青木長官

問い合わせ先

消防庁総務課 矢島
TEL: 03-5253-7521